

氏名	黒田 真由美	部署	看護学科	職名	助教
研究分野	地域看護学、緩和ケア、看護教育				
学位	修士（看護学）				
学歴	2004年埼玉県立大学保健医療福祉学部看護学科 2017年埼玉県立大学大学院保健医療福祉学研究科博士前期課程				
経歴	2017年～埼玉県立大学保健医療福祉学部看護学科助教				
所属学会（役職）	日本看護科学学会、日本在宅ケア学会、日本公衆衛生看護学会、日本ホスピスケア・在宅ケア研究会、埼玉県立大学保健医療福祉科学学会				

【2021年度実績】

1. 研究業績						
(1) 著作						
	著作の名称	単・共	ISBN	発行所、全ページ数	著者、編者名	発行等年月
1	該当なし					
(2) 論文						
	論文の名称	単・共	査読	IF対象誌	雑誌名、巻（号）、開始-終了ページ	著者、編者名
1	Good deathを支える訪問看護師が大切に する思い	共著	あり		ホスピスケアと在宅 ケア、第29巻1号、 11-16	黒田真由美、星野純子、常盤文枝
(3) 学会発表						
	学会発表の演題	単・共		学会名、開催都市	発表者（発表者は○印）	発表等年月
1	該当なし					
(4) その他						
	名称	単・共		発表場所等	発表者（発表者は○印）	発表等年月
1	該当なし					
2. 競争的資金等の研究						
	競争的資金等の名称			研究名	研究代表者・研究分担者の別	研究期間
1	文部科学省・日本学術振興会科学研究費 補助金（基盤研究C）			市町村の保健師分散配置時代に対 応した保健師教育プログラムの開 発	研究分担者	2019.4～2022.3
3. 教育業績						
(1) 講義						
	講義の名称	科目責任者	コマ数	概要（教育内容・方法等において工夫した点）		
1	地域看護学Ⅱ		2	地域看護の対象理解が深まるよう写真や絵を活用した資料を作成し、音声を付けて配信した。Webclassにて課題・感想の記入をしてもらい、次の回に反映してフィードバックを行った。		
2	地域看護学Ⅲ		3	地域での療養を支える日常生活援助や医療技術や医療的ケア児の生活をイメージできるよう写真を活用した資料を準備した。事例に基づき障害福祉サービス・社会資源について説明した。		
(2) 演習						
	演習の名称	科目責任者	コマ数	概要（教育内容・方法等において工夫した点）		
1	地域看護学Ⅲ		10	事例を用いた看護過程の展開では、在宅での生活の特徴を説明した。訪問場面のコミュニケーション演習では、Zoomでグループに分かれシナリオを作成した後、ロールプレイを行った。		
(3) 実習						
	実習の名称	科目責任者	学外実習：期間 学内実習：コマ数	概要（教育内容・方法等において工夫した点）		
1	公衆衛生看護学実習		2021.4～2021.6	1つの保健所と4つの市町村実習を担当し公衆衛生看護活動や保健師の役割の理解が深まるよう、実習指導者と連携して指導した。		
2	総合実習		2021.7	訪問看護ステーションと包括において4名の学生を担当した。学生個々の課題達成に向けて、実習指導者と調整を図った。臨地実習が短縮となった分は遠隔での個別指導を行い、個々の学習を深めた。		

3	IPW実習	○	2021.10	科目責任者として実習実施形態について協議を重ね、施設FTが参加する遠隔実習に向けた準備を行った。2施設6チームを担当し、円滑に実習が進むように調整を行った。		
(4) 論文指導						
	対象		期間	主指導・副指導の別及び指導人数		
1	卒業論文		2021.3~2021.10	主指導	2名	副指導 名
(5) その他						
	名称		期間	概要(教育内容・方法等において工夫した点)		
1	学生の相談指導		2021.4~2021.9	担任として、学生の生活や健康面、進路の相談を行った。		
4. 社会貢献活動						
(1) 講演会、研修会、公開講座等の講師						
	講演会、研修会、公開講座等の名称		主催	講演、研修、公開講座等のテーマ		開催年月
1	該当なし					
(2) 国、自治体、学術団体等における委員等						
	国、自治体、学術団体等の名称		委員等の名称		任期	
1	該当なし					
(3) ジャーナリズムでの発言						
	メディア等の名称		内容			年月
1	該当なし					
(4) その他						
	項目	相手方等	内容			期間
1	該当なし					
5. 学内運営						
	項目	内容				期間
1	学科等における委員会等	2年生担任				2021.4~2021.9
2	学科等における委員会等	SPU学会総務委員				2021.4~2021.9
3	学長指定プロジェクトへの関与	研究開発センタープロジェクトGメンバー				2021.4~2021.9
6. 受賞(研究、教育、社会貢献活動に関するもの)						
	受賞名				主催	受賞年月
1	該当なし					
7. 特許の取得						
	特許名				特許番号	登録年月
1	該当なし					
8. 特記事項						
1	該当なし					